

# 道徳科学習指導案

日時 平成29年7月12日(水) 5校時  
場所 1C教室  
生徒 北斗市立大野中学校1年C組32名  
授業者

## 1 単元名

正義ってなに? (「明日をひらく」 東京書籍)

## 2 単元について

中学校1年生という時期は、社会の在り方に関心を向け、現実の社会の矛盾や問題に気づき、日常生活の不正や不公正、理不尽さに気づくようになる。しかし、まだまだ成長段階のこの時期の生徒は、これらのことについて自分本位の批判になりがちである。他者の不正や不公平を追求するあまり、自らの不正、不公平に気付かないことも多くある。

今回の単元は、社会科の授業で「模擬裁判」をすることになり、クラスの代表のキャロルがクラスメートに、それぞれの役を指示したが、誰も納得しない。キャロルの主張は全員の言い分を聞いていたら何も決まらないため責任としてやっているというものである。しかし、ルーシーはそれを自分勝手と反論し、取り巻きとともに「キャロルを正す会」をつくり、キャロルのわがままを正そうとする。両者の間でさくらはどうしたらいいか考えてしまうという内容である。

社会には多くの規範があり、人々はそれぞれの価値観で生活している。生徒にとって最も身近な社会はクラスである。クラスの生徒もまたそれぞれ違った価値観を有している。他者と対話し議論しながら多面的・多角的に考え、クラスの合意を作り出していくことで、クラスという社会が合理的でより良いものにかわっていくことを実感させたい。

## 3 単元の目標

- ・正義とは何なのかを考え、根拠を明らかにしながら説明し、より良い社会をつくるための判断力を養う
- ・よりよい社会(クラス)を作るための正義を作ることができる。

## 4 生徒の実態

クラスアンケート 当てはまる・どちらかといえばあてはまると答えた割合

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 1. クラスは発表しやすい雰囲気がある。              | 90% |
| 2. クラスみんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある。 | 97% |
| 3. 自分から相手の目を見て挨拶をしている。            | 94% |
| 4. 学校は楽しい。                        | 94% |
| 5. 読書が好きだ。                        | 78% |
| 6. 読書は視野を広げたり考えを深めたりする役に立っている。    | 72% |
| 7. 朝学習はあなたの学習の役に立っている。            | 97% |

クラスアンケートから、学級や学校生活に対して肯定的な生徒が多く、人間関係が良好であることがわかる。男女ともに仲が良く、明るく学校生活を送っている。また、クラスのために自分のできることを前向きに考える生徒が多く、意欲的に活動に取り組んでいる。朝の会の1分間スピーチなどでは、自分の意見や考えを理由を明らかにして発表したり、何かを紹介する際には引用を用いて説明したりする練習をしているので、今回の授業で

も、意見や考えの根拠をはっきり説明しながら、他者の意見や考えと比較し、議論する中でより良いものを作り上げている意欲や姿勢を伸ばしていきたい。

## 5 単元の評価規準

内容項目 C-11.公正、公平、社会正義 (関連する項目 B-6 思いやり、感謝)

| C 主として集団や社会との関わりに関すること |                       |                               |  |   |
|------------------------|-----------------------|-------------------------------|--|---|
|                        | 小学校1、2年生              | 小学校3、4年生                      | 小学校5、6年生   | 中学校   |
| 公正、公平、社会正義             | 自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。 | 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。 | 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。 | 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。 |

## 6 単元計画 (1/1時間) 本時案に同じ

## 7 研究主題との関連性

研究主題「仲間と学び合い、ともに高め合う生徒の育成～教科を横断した連続的な学び、思考・判断・表現力を活用するために～」を達成するには、自分の考えだけでなく、一つの事柄でも多様な見方・考え方があることが重要である。そのため、今回の授業ではグループ学習を取り入れ、定まった正解がない課題に対して、それぞれの価値観を認めつつ、よりよい社会を作り上げるために協同して解決に向けて話し合うことを中心に授業を展開する。また、話し合いの際に、自らの思考を整理するために、国語科で学習した「マッピング」を取り入れ、教科を横断した学びにつながるよう意識した。さらに、意見交流や発表の際には学びのステップ等を意識することで、思考したことを相手にわかりやすく表現する力を身に付けさせたい。

### 【学びのステップ】 国語科学習指導要領解説「各学年の目標及び内容の系統表」より

|      | ステップ1               | ステップ2                            | ステップ3                        |
|------|---------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 聞く   | 話す人の方に顔を向けて、最後まで聞く  | 自分の意見と比較しながら聞く                   | 聞き取った内容から、自分の考えを深める          |
| 話し合う | 目的に沿って、みんなで話し合う     | 互いの考えの共通点や相違点を整理しながら話し合う         | 相手の発言を大切に話し合い、自分の考えを広げる      |
| 発表する | 自分の考えを、みんなに届く声で発表する | 理由や事例などを挙げて、みんなに自分の考えが伝わるように発表する | 互いの意見を比較・検討し、自分の考えをより深めて発表する |

### 【思考・判断・表現力を活用する】各学年のめやす

- 1 学年～自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書くことができる。
- 2 学年～構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書くことができる。
- 3 学年～論理の展開を工夫して説得力のある文章を書くことができる。

## 8 本時案

### (1) 本時の目標

- ①正義とは何なのかを考え、根拠を明らかにしながら説明し、より良い社会をつくるための判断力を養う
- ②よりよい社会（クラス）を作るための正義を作り、これからの生き方を考えることができる。

### (2) 本時の展開

| 過程 | ○主な学習活動  | ◇教師の主な働きかけ   | □評価方法<br>▲勢を断る判断の手立て   |
|----|--|--|--|
| 導入 | 正義のイメージについて考える   | アンケート結果<br>・「悪」を懲らしめることが正義なのか？<br>・国や時代、集団によっても不変の正義はあるのか。   |  |
| 展開 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>学習テーマ：正義とは何かを考えよう</b><br/> <b>学習課題：良いクラスにふさわしい正義をみんなで見つけよう</b> </div> |  |  |
| 終末 | 1Cの正義（共通解）の確認<br>教師の説話   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ルール（マトリックス）を使い思考を可視化することで理解や考えを深められるようにする。（個別活動）</li> <li>・悪い点は正義のマイナス条件とする。</li> <li>・多面的・多角的に考えられるようにする</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>教科を横断した連続的な学び</b><br/> <b>《国語科・1分間スピーチ》でのマッピング</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正義ではない事柄から、さらに正義について考えさせる。</li> <li>・思考ツール（マッピング）を使用し、思考を深めさせる。（個別活動）</li> <li>・ホワイトボードを使って意見の共有をしクラス全体で理解させる。（共通解の共有）（班活動・全体）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□ワークシート記入<br/>▲教材の内容を確認する</li> <li>□ワークシート記入<br/>▲マッピングの書き方を確認</li> <li>□観察<br/>▲話し合いの方法をアドバイス</li> </ul> |

(3) 本時の評価

- ①根拠を示しながら意見を述べ、クラスにふさわしい正義を作ることができたか。
- ②共通理解からこれからの自分の生き方を考えることができたか。

(4) 板書計画

学習テーマ：正義とは何か？  
学習課題：良いクラスにふさわしい正義を見つける

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>授業の流れ</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> | <p>キャロルとルーシーの正義<br/>マトリックス用紙</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> | <p>正義とは？<br/>ホワイトボード</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> |
|---|---|---|

まとめ： クラスの共通解の提示



参考・引用：中学校道徳アクティブ・ラーニングに変える7つのアプローチ 田沼茂紀編著 明治図書